

# 沖縄製糖業体制強化対策事業（内閣府沖縄振興局（振興第二担当参事官））

5年度予算額 **5.0億円**  
（4年度当初予算額 7.2億円）

## 事業概要・目的

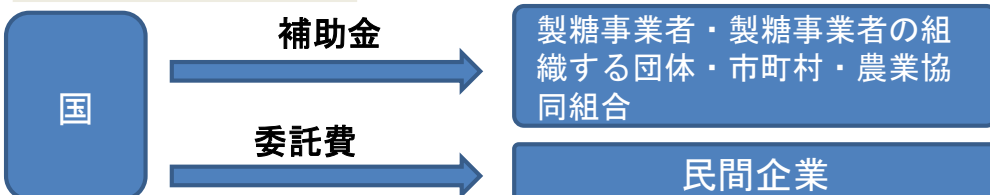
さとうきび生産とともに地域経済の維持発展に大きな役割を果たしている製糖業については、

- 人口減少や高齢化等により労働力が不足する中、製造部門の働き方を見直し、時間外労働の上限規制等、働き方改革に対応できるようにするとともに、黒糖製造業においては、脆弱な販売・保管調整管理部門を強化し、さとうきびの増産等にも対応できるようにすることが求められています。
- また、新型コロナウイルス感染症拡大といった不測の事態により、労働力の確保がより困難な状況下において、他分野から幅広く人材を確保し、有効かつ円滑に活用することで製糖業が継続・維持できる体制を整える必要があります。
- このため、働き方改革に対応した、労働力不足の改善や集中管理による省力化及び自動化設備の整備を図りつつ、限られた人材を有効に活用して、脆弱な販売・保管調整管理部門の体制強化を図るための取組を推進します。

## 事業イメージ・具体例

1. **人材確保・育成支援事業（継続） 【51百万円】**
  - ・ 労働力を安定的に確保するための人材確保の活動、製造施設運営等に必要な資格取得
  - ・ 技術者の人材育成及び幅広い分野の人材を有効かつ円滑に活用できるようにするためのマニュアルの整備
2. **沖縄県産黒糖需要拡大・安定供給体制確立実証事業（継続：委託費） 【69百万円】**
  - ・ 県産黒糖の今後の安定供給体制の確立に向けた短期的計画及び中長期的計画の策定
  - ・ 付加価値を高めた県産黒糖の販売戦略の構築
  - ・ 新たな商品開発への支援
  - ・ 需給調整用黒糖の運用の検討
3. **人材確保・地域活性化施設整備事業（継続） 【379百万円】**
  - ・ 含みつ糖工場における働き方改革に対応した長時間労働の是正のために必要な労働生産性向上等に資する施設整備

## 資金の流れ



## 期待される効果

- 製糖工場の労働力を確保し、人手を要していた工程の省力化及び自動化に取り組むことで、含みつ糖工場の一人当たりの時間外労働時間の縮減が見込める。
- 黒糖の安定供給体制を確立することで、含みつ糖工場の安定的、持続的操業が可能となり、地域経済の維持・発展に寄与する